

慶應義塾中等部

音楽会



12.17

かつしかシンフォニーヒルズ



～ 開 会 ～

慶應義塾塾歌

作詞 富田 正文 作曲 信時 潔

- | | | | |
|--------|-------------------------|----------|----------------|
| 1. 1 F | かえられないもの | 作詞・作曲 | 若松 欽 |
| 2. 2 E | おかえり (Tani Yuuki) | 作詞・作曲 | Tani Yuuki |
| 3. 3 F | 最終回のその先へ | 作詞・作曲 | |
| 4. 1 A | あなたに会えて… | 作詞・作曲 | 山崎 朋子 |
| 5. 2 C | 残酷な天使のテーゼ (高橋 洋子) | 作詞
作曲 | 及川 眠子
佐藤 英敏 |
| 6. 3 B | 新たな一歩 | 作詞
作曲 | |
| 7. 1 B | 道 | 作詞・作曲 | 山崎 朋子 |
| 8. 2 A | 点描の唄 (Mrs. GREEN APPLE) | 作詞・作曲 | 大森 元貴 |
| 9. 3 C | キャンパス | 作詞
作曲 | |

10. 1 E 輝くために 作詞・作曲 若松 歓

11. 2 D キセキ (GReeeeN) 作詞・作曲 GReeeeN

12. 3 E 旅立 作詞
作曲

13. 1 C My Own Road 作詞・作曲 梅野 知子
— 僕が創る明日 —

14. 2 B ひまわりの約束 (秦 基博) 作詞・作曲 秦 基博

15. 3 A 未来へ 作詞
作曲

16. 1 D この空の青さよ 作詞 山本 瓊子
作曲 太田 桜子

17. 2 F 怪獣の花唄 (Vaundy) 作詞・作曲 Vaundy

18. 3 D トウカエデ 作詞・作曲

中等部の歌

作詞 折口 信夫 作曲 芥川 也寸志

2024 年度音楽会 3年生創作曲 歌詞

3 A 『未来へ』

- | | | |
|---|---|---|
| 1. この場所で出会い
ここから始まり
大切なときを とともにした
いっぱい笑ったり
いっしょに歌ったり
たくさんの仲間 知り合えた
さあ始めよう 最初の一步
強く踏み出そう 今すぐ
始めよう 過去より未来
赤い太陽 力強く | 2. この場所で出会い
ここから始まり
大切なときを とともにした
時々泣いたり
けんかになったり
叱られることも あったけど
でも忘れない 前に進もう
乗り越えられる 今なら
忘れない 過去より未来
新しい風 吹かせるから | 3. この場所で過ごし
ここから始めた
大切なときを この胸に
後悔するより
希望を持ちたい
叶えられるはず ぼくらなら
今飛び出そう 自信を持って
地図を描こう 思い切り
飛び出そう 過去より未来
大空高く 舞い上がれ |
|---|---|---|

3 B 『新たな一步』

- | | |
|--|--|
| 1. 朝日が昇る 笑い声が響いてる
昨日の夜の不安はもう 笑顔に書きかえてゆこう
新たな一步で 僕らの未来へ
探しにゆこう ほんとの自分を | 2. 涙がこぼれる そんな日もあるけれど
空を見上げるようにほら 上を向いて歩いてゆこう
どんな壁も 乗り越えられる
未来の希望 見失わないで |
|--|--|
- 新たな一步を踏み出そう 未来は君の手のひらの中に
決して後悔のない日々 過ごせるように
- 新たな一步を踏み出そう 未来は君の手のひらの中に
世界全体を君のステージにしよう

思い出せば笑顔こぼれる いつまでも忘れることはない
今の日々もう終わってしまうけど いつかまたこの場所で会おう
僕らの未来を歩もう 間違えることをおそれずにほら 傷も痛みも抱きしめ 夢をつかもう

3 C 『キャンバス』

思い出の教室で みんなと笑った夏の日
青いシャツで喜び合った あの瞬間がいとおいしい

かけがえのない時間をくれた君が
ずっと真っ白な絵に 彩りをくれた ビリミリオンの価値になる 無限大の可能性と
いま真っ白な空 みんな羽ばたいてく 後悔しない選択を 選んだこの道歩もう

かけがえのない時間をくれた君が
ずっと真っ白な絵に 彩りをくれた ビリミリオンの価値になる 無限大の可能性と
いま真っ白な空 みんな羽ばたいてく 後悔しない選択を 選んだこの道歩もう

あの詞のように 君とともに描いた夢

3 D 『 トウカエデ 』

1. 教室の笑い声 見守るトウカエデ
いつもの帰り道に 爽やかな風がふく
季節はめぐる 僕らは変わってゆく
ひとり戸惑う時も 光の射す方へ
目を閉じて たとえ自信がない夜でも
そのままてただ輝くから
たしかめて もしも道に迷いそうでも
導く手のひらがあるから
2. 緑光る中庭 煌めくポプラ達
靴紐ほどけながら 追いかけていたボール
季節はめぐる 周りは変わってゆく
他人を羨むときも 光の射す方へ
目を閉じて もしも上手く笑えなくても
そのままてただ尊いから
たしかめて たとえ先が見えずにいても
踏みしめる大地があるから

傷ついて もしも歩き出せずにいても 踏み出せる日がまた来るから
つながって 僕の熱い胸の思いを 届けられるときが来るから ラララ...

3 E 『 旅立 』

1. 狭苦しい僕の世界では 時計が朝を告げる
その歌で僕は目を覚ます
自分の事も知らなかった ただ弱い子供だった
大人のようになりたかった
ただわけもなく泣きたくなる夜を
幾星霜超えてきたんだよ
落ちてく星に願いを託して
いつか消えてしまうかな
涙が落ちることはなかった
2. 月の下自転車道を漕ぎ 計画のない旅へ
地平線のあの砂浜へ
世界の外が知りたくって 今逃げ出したくなった
変わりのないこの景色から
まだあと少しこの夢の世界を
願っても叶いやしない
落ちてく星に願いを託した
いつか終わりはくるの
夜空の海は答えなかった

「明けない夜はない」なんていうけど 明けない夜も良いでしょう
綺麗事なんて欲しくはないんだよ いつかの絵空事で良い 僕の世界は僕だけでいい

3 F 『 最終回のその先へ 』

1. テラスから眺める 一年生まだあどけない
教室を振りかえると 目線の高さが変わった
ボールが落ちない中庭 他愛ない話をした教室
あのときの私たちには 永遠だった
過ぎさってく時間 とてもかけがえないもの
だから追いかけるだけで つかれてしまう日もあるけど
15歳の私たちにゴールなんてまだ見えない
昨日より一歩優しい自分に変えてゆこう
2. 白い息はきながら 願い込め放ったボール
指揮棒の先集まる 沢山の瞳の奥
友達と抱き合い 流した涙は本物だった
あのときの私たちには 永遠だった
過ぎさってく時間 決して戻らないもの
信じてたものがこわれ 傷ついた時間もあつたけど
心の目を開いたら 何が大切なのか
見えてくる道を自分の心を 信じて進めばいい

15歳の僕たちは まだ未来なんて見えない 信じる友と中等部でのまなびを きざんで進んでゆこう

最終回は決まってない 最終回のその先へ

慶應義塾塾歌

作詞 富田 正文
作曲 信時 潔

一、見よ

風に鳴るわが旗を

新潮寄するあかつきの

嵐の中にはためきて

文化の護りたからかに

貫き樹てし誇りあり

樹てんかな この旗を

強く雄々しく樹てんかな

あ、わが義塾

慶應 慶應 慶應

二、往け

涯なきこの道を

究めていよ、遠くとも

わが手に執れる炬火は

叡智の光あきらかに

ゆくて正しく照すなり

往かんかな この道を

遠く遙けく往かんかな

あ、わが義塾

慶應 慶應 慶應

三、起て

日はめぐる丘の上

春秋ふかめ揺ぎなき

學びの城を承け嗣ぎて

執る筆かざすわが額の

徽章の譽世に布かん

生きんかな この丘に

高く新たに生きんかな

あ、わが義塾

慶應 慶應 慶應

中等部の歌

作詞 折口 信夫
作曲 芥川也寸志

一 風に ひらめく

色の さやけさ

慶應の旗

いよいよ はえむ

若きは 清くあれ

海の 反射は

三田を 照して

独立の塔

ますます かがやく

若きは ほがらなれ

二 来たれり 今や

自尊の 世代

この我を 見よ

学に そそれり

若きは ほこりあれ

三 今や 自尊の

世代 来たりて

慶應の旗

独立の塔

いよいよ 照らむ

四 若きは 若きは

若きは 若きは

若きは 若きは

若きは 若きは